

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道56号 <small>うわじま</small> 宇和島道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局
起終点 自：愛媛県宇和島市津島町岩松 <small>うわじましつしまちょういわまつ</small> 至：愛媛県宇和島市高串 <small>うわじましたかぐし</small>	延長 17.5km	
事業概要 国道56号は、高知市を起点に、四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を經由して松山市に至る延長約320kmの主要幹線道路である。南予地域を南北に縦貫するこの路線は、松山方面と南予、高知西南地域を結ぶ四国西南部の動脈で、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。しかしながら、宇和島市街部では交通混雑・渋滞が慢性化しており、周辺市町村を含めた地域全体の生活や産業にまで、深刻な影響を及ぼしてきている。宇和島道路は、市街地に集中していた交通量を分散させて交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通確保を図ることを目的とした事業である。 また、四国、中国、近畿経済圏との広域連携を目指した「四国8の字ネットワーク」は、高規格幹線道路等のネットワーク効果を四国内の隅々まで波及させるとともに、三次医療施設への搬送や、南海地震等災害時の緊急輸送道路として、大きな役割を担う必要不可欠な社会基盤であり、本事業はその高速交通ネットワーク形成の一部を担う事業として位置付けられている。		
S59年度事業化	S59年度都市計画決定 (H11年度変更)	S60年度用地着手
		S62年度工事着手
全体事業費	約1,822億円	事業進捗率
		約71%
		供用済延長
		14.0km
計画交通量 : 8,000~19,900台/日 [現況+事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの]		
費用対効果分析結果	B/C : (事業全体) 1.2 (残事業) 0.7	総費用 : (残事業)/事業全体 360/2,190億円 (事業費 : 341/2,142億円) (維持管理費 : 20/47億円)
		総便益 : (残事業)/事業全体 267/2,552億円 (走行時間短縮便益 : 239/2,062億円) (走行経費減少便益 : 17/304億円) (交通事故減少便益 : 11/187億円)
基準年 : 平成23年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.1~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=0.6~0.9 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=0.7~0.8 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.2~1.2 (事業期間±10%) 事業期間 : B/C=0.7~0.8 (事業期間±10%)		
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・並行区間（国道56号（宇和島津島町））の混雑時旅行速度が改善される。 ・現道等の路線バス（宇和島バス）及び高速バスの利便性や快適性の向上が見込まれる。 ・愛南駅役場からJR宇和島駅（特急停車駅）への所要時間の短縮が見込まれる。 ・愛南駅役場から松山空港（第二種空港）への所要時間の短縮が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・愛南駅役場から宇和島港（重要港湾）への所要時間の短縮が見込まれる。 ・深浦漁港から松山市への農林水産品流通の利便性向上が期待される。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・四国横断自動車道と並行する自専道として位置づけられている。 ・四国8の字ネットワークの一部を構成する路線として期待される。 ・八幡浜大洲地方生活圏～宇和島地方生活圏～幡多地方生活圏の中心都市間を連絡する等、日常活動圏中心都市への最短時間連絡する路線として期待される。 ・日常活動圏中心都市（愛南町役場～宇和島市役所）へのアクセス向上が期待される。 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援している。（愛媛国体 H29開催、宇和島港国内物流ターミナル整備 H25完成予定） ・主要観光地（須ノ川公園～松山市）へのアクセス向上が期待される。 ・新規整備の公共公益施設へ直結する道路として期待される。（宇和島市交流拠点「道の駅 みなとアジウわじま きさいや広場」）		

⑤安全で安心できるくらしの確保

- ・三次医療施設（愛南町役場～市立宇和島病院）のアクセス向上が期待される。

⑥災害への備え

- ・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。
- ・緊急輸送道路である国道56号が通行止めになった場合の代替路線として期待される。

⑦地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。

⑧生活環境の改善・保全

- ・NO2排出量の削減が見込まれる。
- ・SPM排出量の削減が見込まれる。

⑨その他

- ・関連する大規模道路である四国横断自動車道・宇和島北～西予宇和を一体的に整備する必要あり。
- ・走行環境の改善による事故減少が期待される。

関係する地方公共団体等の意見

- ・平成21、22年度に国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会、愛媛県知事・愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会、四国西南地域道路整備促進協議会より、早期供用の要望がなされている。

県知事の意見：国の「対応方針（原案）」案については異議ありません【継続】。一般国道56号宇和島道路は、四国8の字ネットワークを形成する高規格幹線道路であるとともに、本県の南予地域の活性化や救命・救急医療、大規模災害時における避難や緊急輸送など防災・減災において大きな役割を担う必要不可欠な道路であり、県民はその一日も早い完成を待ち望んでいます。については、一般国道56号宇和島道路の早期完成をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成22年3月 宇和島道路(宇和島南IC～津島高田IC)L=7.8km暫定2車線供用
- ・平成23年度 四国横断自動車道(西予宇和IC～宇和島北IC間)L=16.3km 暫定2車線供用予定
- ・平成21年4月 道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場 オープン

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・用地進捗率 1工区は約75%、全体事業進捗率約71%となっている。(H22年度末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・津島町岩松～津島高田ICの用地取得率は75%であり、平成26年度供用予定に向け、事業を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・路面排水工や舗装工の見直しにより、約0.6億円の事業見直し(コスト縮減)を図る。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業効果及びコスト縮減等の内容、事業評価委員会の審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。